



爽りの秋、楽しい保育できていますか？子どもたちと楽しんでいますか？

行事が多くて大変な時期かもしれません。・・・でもこれは、私たちが子どもたちと向き合ってきた保育の姿、成長、課題など大事にしたいことを伝えるまたとない機会です。保育者がことばで伝えるのではなく、代わりに子どもたちがそれぞれの姿で表現してくれます。いつも以上の力を発揮してくれる子もいるでしょう。緊張してても、上手にできなくても大丈夫。楽しいを笑顔でちょっと嫌なんだよを泣くこと、すねた表情で伝えてくれます。私たちの愛情と思いを子どもたちは汲み取って、心も体も成長しています。笑顔の理由、怒っている理由、涙の理由を子どもの代弁者として伝えることが専門性です。子どもに代わって気持ちを伝えていきましょう。

11月・・・子ども関連のたくさんの日、ご存知ですか？

○11月29日 保育士の日

保育士が国家資格となった日（平成15年）
 全国保育士会がこの日を保育士の日と決めました
 全国保育士会HPを覗いてみましょう。
 保育の現場や園内研修で活用できる資料が沢山。
 パンフレットは全てダウンロードできます。

子ども家庭庁の成育局長（福岡出身 藤原朋子氏）とお話をする機会がありました。「保育の現場で働いている皆さんはすごい！不適切な保育などの報道も続いているけれど、私たちは皆さんのことを尊敬しているし期待をしています。日本の未来を支えていただいています。感謝しています。」とても嬉しいおことばでした。

○秋の子どもまんなか月間

子どもや子育て世帯を社会全体で支えることが当たり前になるよう、
 子ども家庭庁が5月と11月を「子どもまんなか月間」と決めました。



○オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン

「子どもを虐待から守るのに理由はいらない」

まずは連絡189（いちはやく） 児童相談所 虐待対応ダイヤル

しつけ？体罰？なかなか保護者には言いにくいけれど、パンフレットなど活用して、望ましい関わり方を伝えるのもいかがでしょうか。

子ども家庭庁のHPにたくさんの資料があります。印刷して保護者にお配りするのはいかがでしょうかでしょう。

○乳幼児突然死症候群（SIDS）対策強化月間

SIDSは、何の予兆や既往歴もないまま乳幼児が市に至る原因のわからに病気です。
 令和4年には47名の乳幼児がSIDSで亡くなり、乳幼児期の死亡原因の第4位です。

○「家族の日・家族の週間」

家族の日 11月19日（日） 家族の週間 11月12日（日）～25日（土）
 家族や地域の大切さ、子どもを社会全体で温かく包み込む大切さ等について理解を深めてもらうことを目的に平成19年度に定められました。



<研修会から>

◎11月9日(木) 国際交流会館ホール 主任保育士・主幹保育教諭、中堅保育者研修
「保育現場で守るいのち」～子どもの心と愛着形成～

四国こどもとおとなの医療センター育児支援対策室長 小児科 木下あゆみ氏
園・学校で虐待対応をする意義 親の代弁者ですか？ こどもの代弁者ですか？

- ①親がいない場所で ②いつもの先生が
③いつもの場所で ④自分の味方になって話を聞いてくれる

大事なことは・・・

- 1 『子どもの声なき声』を真摯に聴こう
- 2 『子どもの心身の痛み』を知ろう。

園にいけない、身体がだるい、食べられないなどは子どもからのSOS!!

- 3 一支援者、一施設だけで抱え込まず小児科など、いろんな専門家を頼ってみよう！
- 4 こどもアドボカシー（代弁者）とは

『子どもの言葉そのものの拡声器』ではない!!

『子どもの最善の利益』を専門家として加味したうえでの代弁を!!

チャイルドファーストで

おせっかいになる 知らないふりもできる

でも子どもの将来には重要なことは？

こどもの立場にたって判断 こどもにとっていい環境なのか？

親を本当の犯罪者にさせない 最初はハイリスクケース

次は命が危ないかも

『様子を見る』は虐待に加担しているのと同じ

その間にこどもは危険にさらされているかも

『虐待』はどの親にも起こり得る こどもも親もSOSを出している

アンテナを張り巡らせよう！

※愛着形成のやり直しは親でなくでもいい

小さいこどもの時は被虐待児、大きくなったら非行少年の可能性も・・・

保育者は
おせっかいで子ども
が大好き
観察も得意
できることが沢山！

<今後の予定>

★第48回熊本市保育園連盟体育祭 11月25日(土)

笑顔沢山、パークドームでお会いしましょう！



◎12月13日(木) オンライン 障がい児研修

「その子らしさを大切に保育」～自分にOK!といえる子どもに育つ～ (仮)

(明星大学教授・こども家族早期発達支援学会会長 星山麻木氏)

◎1月 or 2月 予定 オンライン 保育の安全研修

「保育者を守る」～保育の安全と保護者とのコミュニケーション～

(保育の安全研究センター 掛札逸美氏)



◎1月12日(金) 食育推進研修会 (皇學館大学 駒田聡子氏) ※給食部会主催

今年の秋はなかなか寒くなりませんが、日中と朝晩の気温差に身体がついていきませんね。でも、あっという間に年末です。手洗い、うがい、水分、栄養、休養・・・寒い冬を乗り切っていきましょう。

熊本県小児科医会と連盟で作成した『園における感染症の登園基準一覧表』の2023年版が出されます。

参考にしていきましょう。